

English version of this page is available. [english version](#).

LipSyncで使用される画面表示メッセージを定義した言語設定ファイルの作成方法を紹介します。version 2.3.6以前と仕様が変わっていますのでご注意ください。

LipSyncでは、多言語アプリケーション開発で一般的に使われるpoファイルを使用します。ここでは、翻訳作業を行うためのツールpoEditを使った翻訳作業の流れを紹介します。

poEditの入手

[poEditのホームページ](#)から最新のものが入手可能です (Nov 2008現在)。

poEditの設定

poEditには、デフォルトではC#用のソースコードパーサが設定されていないので、設定を行います。また、初回の起動時には (おそらく) インターフェイスが英語表記になっているので、好みに応じて言語を切り替えてください。

表示言語の設定

- ・「File」メニューから「Preference」を選びます。
- ・「Personalize」タブを選び、「Change UI language」ボタンを押します。
- ・出てくる「Language selection」ダイアログで、言語を選び、「OK」ボタンを押します。
- ・再起動後に、選択した表示言語で表示されるようになります。
- ・以下の説明では「Japanese」に変更したものと説明します。

パーサの設定

- ・「ファイル」メニューから「設定」を選びます。
- ・「パーサ」タブを選択します
- ・リストに「C#」の項目が無ければ、「新規」ボタンを押し、各項目に以下の文字列を入力して「OK」を押します。
 - 「言語:」C#
 - 「対象拡張子を(ry:)」*.cs
 - 「パーサのコマンド:」xgettext --force-po -o %o %C %K %F
 - 「キーワード一覧の各項目」-k%k
 - 「入力ファイル一覧の各項目」%f
 - 「ソースコードの文字符号化法:」--from-code=%c
- ・入力できたら「OK」ボタンを押して終了。

LipSyncソースコードの入手

このWikiで本体と共に配布されているソースコードを使うのが最も簡単です。出来ればSourceForge.jpのcvsから最新のものをチェックアウトするようにしてください。

翻訳作業